

令和元年の桜 年年歳歳花相似たり

平成から令和へ。そういう意味では、今年の桜は特別な気がします。一つの時代の「区切り」に、それを見届けるのも大切な役目だよ、と桜は教えてくれるようです。とまれ、メンバーの皆様に募った「今年の桜」写真が集まりました。ブリテン4月号別刷版として、ご紹介致します。写真を見ているうちに、70年前、母親に手を引かれて行った小学校の入学式を思い出しました、なんてこともありますでしょうか。甲府駅のホームに桜の花びらがありました。風に乗って舞鶴城公園から飛んできたのか、はたまた旅人の肩に乗ってきたのか。来年の花見はどこへ行きましょうか。



慈雲寺 ①



川崎市宿河原二ヶ領用水の散り始めたさくら 4月7日 ①



舞鶴城公園 ①



上智大学付近 ①

①駒田撮影
①寺田撮影
①野々垣撮影



奈良原のサクラ ㊦

桜。

どこで見る
いつ見る
そして
誰と見る・・・



戸田公園 家族でさくら団欒 ㊦

「さきいずるや
さくらさくらと
さきつらなり」 荻原井泉水



笛吹市奈良原の浅川砂防公園 ㊦



上智大学付近 ㊦



笛吹市奈良原の浅川砂防公園 ㊦



身延線善光寺駅 そろそろ葉桜 4月7日 ㊧



上智大学付近 ㊨

「一花開いて天下春なり。」という禅語がある。一輪の梅花と自己とが一つとなって、すべてにいのちの充満していることを悟らせるための一句である。中国では梅花、桃花、梨花といった花が取り上げられるが、桜はどうなっているのだろうか、と疑問に思った。あるにはあるが、ソメイヨシノのようなものはないし、桜を愛でるといった気持は、日本人ほどは強くない。

残留孤児であった教会員から聞いた話では、中国では日本のことを、「桜三島」といっていたそうで、現代ではわざわざ桜見観光に来日するそうだ。

掲載の写真の中では、主観的だが、奈良原の桜が「いのちの樹」という感じがした。今年はいろいろあった。

「さまざまの事思い出す桜かな」 芭蕉
後藤 哲夫



山梨市牧丘にて 4/6 ㊩



塩山慈雲寺の糸ザクラ5分咲き ㊪



北杜市での撮影 池越しの山は甲斐駒ヶ岳です。 ㊦

「・・・・・・・・さくら、さくら、今咲き誇る、
 刹那に散りゆく運命と知って・・・・・・・・さ
 くら、さくら、いざ舞い上がれ、永遠にさ
 んざめく光を浴びて・・・・・・・・」



山梨市下神内川にて 4/9 ㊧



奈良原のサクラ ㊨



山梨市牧丘にて 4/6 ㊩



上智大学付近 ㊪